

大鹿村中央構造線博物館たより 163号



2022年12月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク 再審査がありました！

11月中旬に、南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの再認定審査があり、11月15日(火)の午後には、3名の審査員が大鹿村入りし、北川露頭、大西公園、中央構造線博物館を視察されました(写真1, 2)。

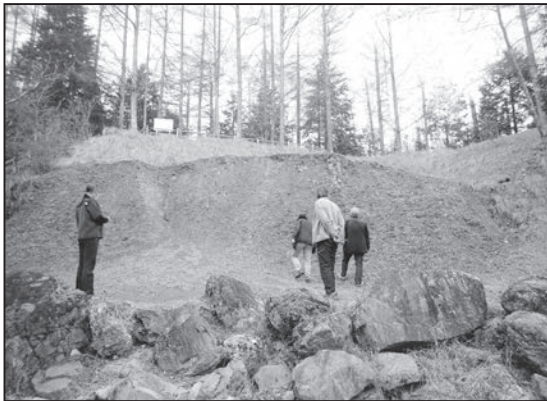


写真1 ジオパーク再審査視察風景(北川露头)



写真2 ジオパーク再審査視察風景(大西公園)

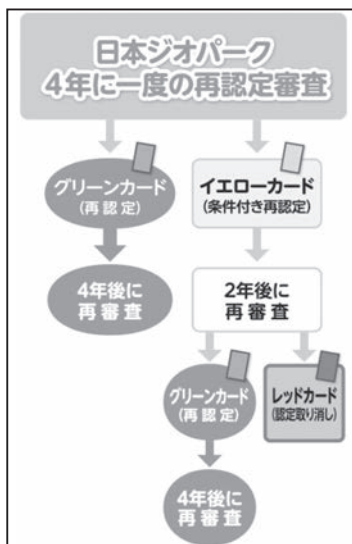


図1 日本ジオパーク
再認定審査の仕組み

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークは、2008年に日本ジオパーク委員会によって、「日本ジオパーク」に認定されました。その後、2012年、2016年の再審査で「再認定」を受けていましたが、2020年の再審査で「条件付き再認定」となっていました。今後もジオパークを続けていくのか否か、検討を重ねた結果、構成自治体4市町村(伊那市、富士見町、大鹿村、飯田市)のうち、富士見町が脱退し、残りの3市町村で引き続きジオパーク継続を目指すこととなり、今年、再審査を受けることとなりました。そして、今回の審査結果が「再認定」となれば引き続きジオパークとして存続しますが、「認定取り消し」となったら、ジオパークは存続できません(図1)。前回の審査で問題視された点の中には、ジオパークの運営体制の強化など、予算の関係等で改善が難しい項目もあるため、結果がどのようになるかは、日本ジオパーク委員会の判断となるかと思いますが、どちらの結果になっても、中央構造線博物館はこれまで通り存続する予定です。(宮崎)